



ディスポーザー
生ごみの減量運動に
ご協力をお願いします！

ごみにしない！ 3R推進コーナー

【問合せ】廃棄物対策課 ☎782-0339

<ディスポーザーとは>

台所の流し台の下に設置して、生ごみなどを碎いて流水で下水道などに流せるようにする機械です。



メリット

- ・生ごみの量が減るため、ごみ出しの負担を減らすことができます。
- ・生ごみが台所の流し台に溜まらないため、台所の衛生面を改善する効果があります。
- ・ごみステーションの臭気を軽減できます。
- ・カラスなどの鳥獣による被害を軽減できます。

<設置にあたって>

- ・下水道、市管理の浄化槽に接続している家庭で利用できます。
 - ・ディスポーザーの稼働には、電気・水が必要で、本体の設置、電気工事などの費用がかかります。
 - ・ディスポーザーの設置は、指定工事店でなければ行うことはできません。設置する場合は指定工事店を通じて市に届け出てください。
- ※設置について詳しくは、下水道課（☎774-2740）までお問い合わせください

<ディスポーザーに投入できないもの>

生ごみのうち、粉碎できないものや粉碎しても下水道管に溜まって詰まるおそれがあるものはディスポーザーに投入できません。

【例】繊維質の多い食物・野菜類（鶏皮やイカの生皮、カニ殻、枝豆のさや、セロリなどの繊維質のもの、玉ねぎやトウモロコシの外皮など）、卵殻、貝殻、牛豚の骨など



災害に備えて

一日前プロジェクト

【問合せ】総務課 防災庶務班 ☎773-6660

「いままで大丈夫だったから」は危ない

平成16年台風第23号（平成16年10月）（徳島市 災害当時60代 男性）

ずっと昔、我々がちょうど小学校2、3年生のころに、今回と同じ川の堤防が決壊して、軒下まで水が来たんです。そのときに大きな被害を受けたので、地区の人たちの台風に対する備えや考え方は十分にできていたと思いますが、「40年以上たったから、もう心配ない」というのがどこかにあったのではないのでしょうか。

平成16年は台風が特に多かった年で、台風が5回来てもなんとかなっていたものだから、6回目の台風23号の時には、「避難しろ」と言っても、なかなか言うことを聞かなかったということなんですよ。

それで大変な被害を受けたものだから、あれから、台風がくるといえば、みんな、車とかを高いところに上げています。それがいつか、「上げたけど心配なかった」になり、「もう上げなくてもいい」というようになって、危機感がだんだん薄れていかなければいいのですが。今回の水害で、『災害は忘れたところにやってくる』ことを実感しました。

